

「学習内容の構造図」

小单元名

工場のしごと（研磨宝飾業を扱う場合）

学習指導要領の「内容」との関連

内容（２）地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。

ア 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。

イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特徴及び国内の他地域などとのかかわり

単元の中心概念

地域の生産に携わっている人々は、それぞれの仕事の特徴に応じて、他地域などとのかかわりを持ちながら、様々な工夫をしている。⑩

具体的知識 調べて分かること

甲府市にある工場には、宝石工場が最も多く、次いで食品工場が多い。また、そのほとんどが中小工場である。①②

甲府市の研磨宝飾工場では、消費者に良い製品を提供するために高い技術が必要である。また、その原料は世界中から集められる。③④

研磨宝飾工場を見学すると、働く人は製品を作る工程の工夫や良い製品を提供するためにさまざまな工夫をしている。⑤⑥⑦

甲府市の研磨宝飾業はおよそ一七〇年前に始まり、現在の生産額は年々減少している。⑧

研磨宝飾の技術を受け継いでいくために、生産者は資格を取得したり、他地域の伝統産業と組み合わせた新しい製品を考えるなどの努力をしている。⑨⑩

用語・語句

・宝石工場
・働く人数
・生産

・研磨宝飾業
・宝石
・貴金属
・デザイン
・研磨
・鋳造
・鋳型
・原料
・水晶
・ダイヤモンド

・研磨宝飾業
・宝石
・貴金属
・デザイン
・研磨
・鋳造
・鋳型
・原料
・水晶
・ダイヤモンド

・金峰山
・生産額

・開発
・県立宝石美術専門学校
・後継者
・技能検定
・ジュエリーマスター認定試験
・技能五輪
・伝統産業

資料

資料集 P46・47

資料集 P48～54

資料集 P48～54
工場の実物資料

資料集 P55

資料集 P56・57

*資料の欄の「資料集」とは「わたしたちの甲府市」のことです。